

獣肉処理施設の概要

羽咋市ではイノシシ被害の増加に伴い、イノシシ捕獲頭数も増加。捕獲されたイノシシの活用を図り、農業の活性化・雇用創出を目的として、平成27年に獣肉処理施設を設置。

平成29年度 解体処理実績：336頭

現在の課題

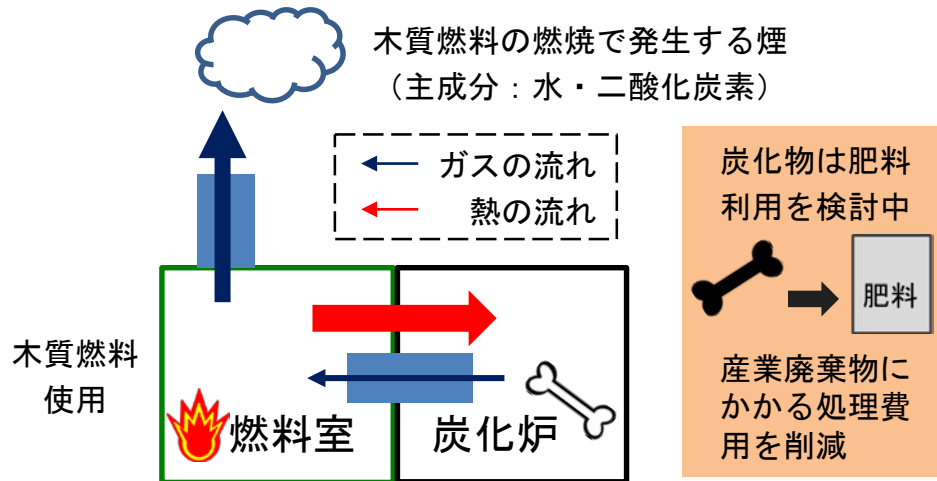
捕獲したイノシシの多くはジビエ利用されずに埋設されている。ジビエ利用の場合も1頭のうち、約6割の骨や皮などの残さは産業廃棄物として処理する必要がある。

平成29年度 産業廃棄物処理経費：約1,300千円

炭化装置の導入によりジビエ利用しない捕獲個体の処理負担の軽減や精肉として流通しない部分の処理費用の削減と活用を目指す

炭化装置の概要

原料（炭化させたいもの）は炭化炉に投入。燃料室で燃焼させて発生した熱を利用して、原料の熱分解を行い、炭化させる。



炭化炉で発生した乾留ガスは燃焼室へ戻して燃焼させる（直接大気へ放出しない仕組み）

実証試験の様子

原料：背骨・あばら骨・大腿骨・皮・肉（合計2.0kg）

燃料：木質燃料（合計6.0kg）



炭化に要した時間：2時間

炭化後の重量：0.3kg

炭化物の様子：非常にもろい

素手での破砕可能

<今後の予定> 平成30年度中に設置、運用開始予定。

※施設見学についてはこちら（有償） → 合同会社のとしし団 <http://notoshishi.com>

※炭化装置についてはこちら → 金沢機工株式会社 <http://www.kanazawakiko.jp>（担当者：y-niwata@kanazawakiko.co.jp）